

企業短期経済観測調査（道北[※]地域分）
（調査対象企業数：道北[※]38社）

※上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内
回答社数構成比 %ポイント
()内は前回調査時予測

(判断D. I.)

	2023/9月	12月	2024/3月	6月	9月	12月	2025/3月 までの予測
業況判断 < 良 - 悪 >	5	3	6	11	16	(0) 10	0
うち製造業	25	0	13	13	0	(0) 0	0
非製造業	0	3	3	10	20	(0) 14	0
国内での製商品・サービス需給 < 需要超過 - 供給超過 >	-18	-16	-11	-6	-6	(-3) 0	-5
製商品在庫水準 < 過大 - 不足 >	4	14	4	0	7	11	
生産・営業用設備 < 過剰 - 不足 >	0	0	0	0	-2	(-2) -5	-8
雇用人員 < 過剰 - 不足 >	-42	-47	-45	-50	-45	(-55) -49	-57
資金繰り < 楽である - 苦しい >	15	16	13	15	13	10	
金融機関の貸出態度 < 緩い - 厳しい >	20	20	29	23	23	27	
借入金利水準 < 上昇 - 低下 >	0	3	6	29	50	(53) 50	44
販売価格 < 上昇 - 下落 >	18	13	18	31	27	(29) 35	27
仕入価格 < 上昇 - 下落 >	50	50	63	58	50	(55) 59	54

(注) 2024/3月以降は、調査対象企業見直し後の新ベース。

(事業計画)

全産業、前年度比%、
< >内は前回調査比修正率%

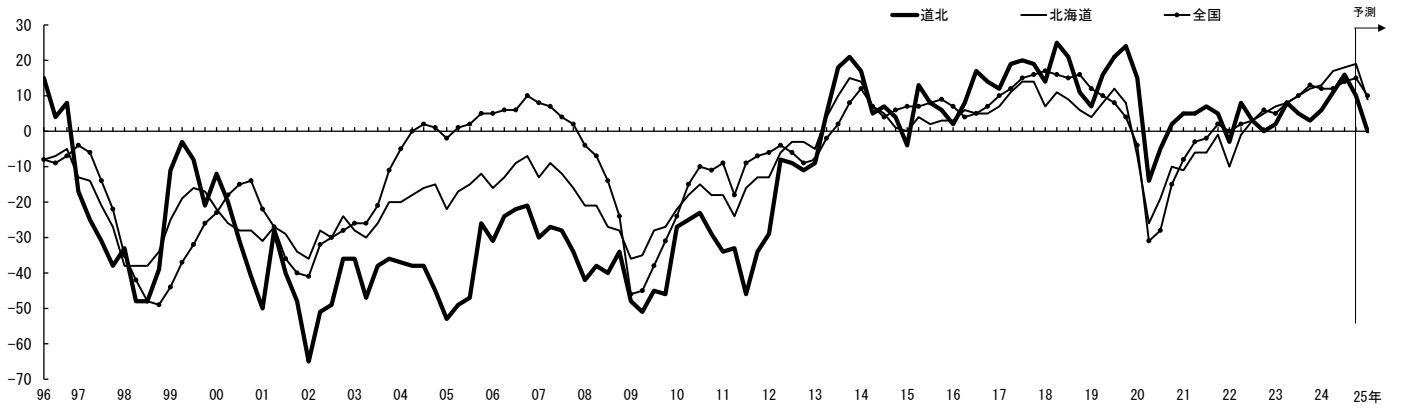
	2022年度実績	2023年度実績	2024年度計画			
			上期		下期	
売上高	5.8	-0.2	-4.7 < 0.4 >	0.3 < 0.9 >	-8.9 < 0.0 >	
経常利益	-20.3	3.3	-29.7 < 10.0 >	-32.0 < 9.9 >	-27.6 < 10.1 >	
当期純利益	-28.3	22.9	-35.8 < 3.8 >	-39.6 < 10.2 >	-31.6 < -1.7 >	
設備投資額	14.1	43.1	-3.9 < 5.8 >			

(注) 2023年度以降は、調査対象企業見直し後の新ベース。

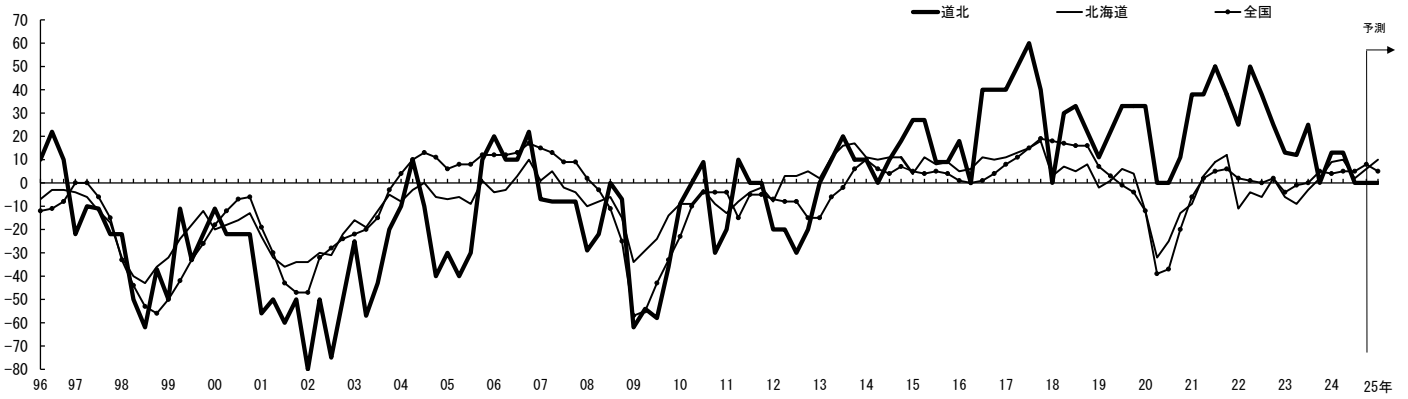
2023年度の前回調査比修正率は、調査対象企業見直し後の再集計値との比較。

2024年12月短観・調査結果

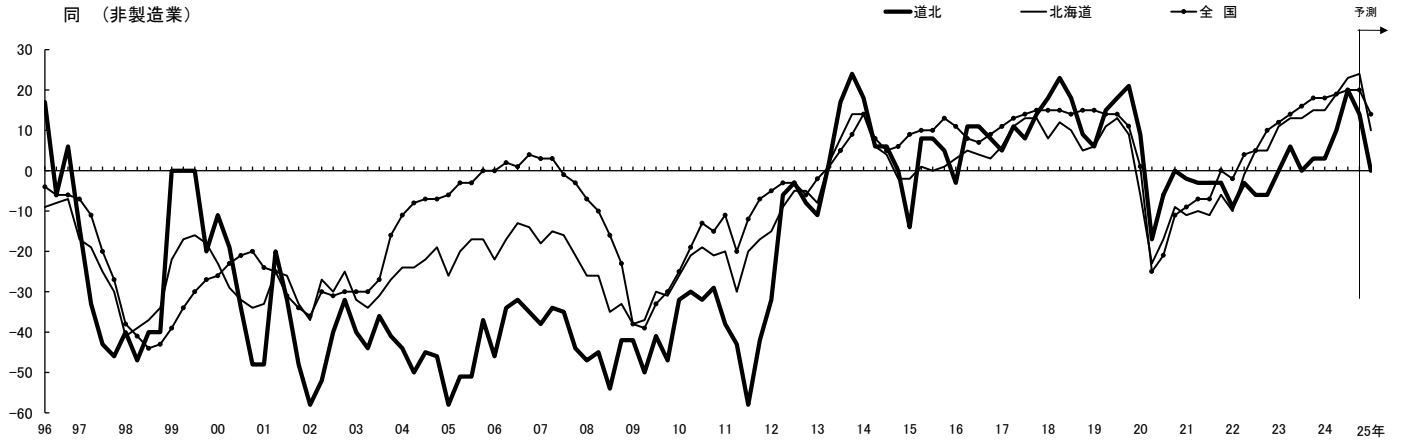
業況判断D. I. (「良い」 - 「悪い」、%ポイント)



同 (製造業)



同 (非製造業)



(注) 道北は、上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内。
2024年3月以降は、調査対象企業見直し後の新ベース。

道北地域の企業短期経済観測調査結果（2024年12月）の概要

- 調査対象企業数：道北地域 38 社（製造業 8 社、非製造業 30 社）
- 回答率 97.4%（有効回答社数 37 社）
- 回答期間：2024 年 11 月 11 日～12 月 12 日

1. 業況判断 DI

- 12 月の業況判断 DI（全産業ベース、DI：%ポイント<以下同じ>）は、+10 となり、前回 9 月調査に比べて悪化した（前回+16、前回比-6）。
 - 製造業の業況判断 DI は、0 と前回調査比不変（同 0、同 0）。
 - 非製造業の業況判断 DI は、+14 と前回調査比悪化した（同+20、同-6）。
- 先行きの業況判断 DI は、悪化を見込み、0 との予測（12 月実績+10⇒2025 年 3 月までの予測 0）。
 - 製造業は横ばい（同 0⇒0）を見込み、非製造業は悪化（同+14⇒0）を見込む。

2. 各種判断 DI

- 「製商品・サービス需給判断 DI<需要超過-供給超過>」（前回調査-6⇒今回調査 0）は、供給超が解消した。
- 「製商品在庫水準判断 DI<過大-不足>」（同+7⇒+11）は、過大超幅が拡大した。
- 「生産・営業用設備判断 DI<過剰-不足>」（同-2⇒-5）は、不足超幅が拡大した。
- 「雇用人員判断 DI<過剰-不足>」（同-45⇒-49）は、不足超幅が拡大した。
- 金融環境についてみると、「資金繰り判断 DI<楽である-苦しい>」（同+13⇒+10）は、楽である超幅が縮小したほか、「金融機関の貸出態度判断 DI<緩い-厳しい>」（同+23⇒+27）は、緩い超幅が拡大した。この間、「借入金利水準判断 DI<上昇-低下>」（同+50⇒+50）は、不変となった。
- 価格面についてみると、「仕入価格判断 DI<上昇-下落>」（同+50⇒+59）、販売価格判断 DI<上昇-下落>」（同+27⇒+35）は、ともに上昇超幅が拡大した。

3. 事業計画

- 2024年度の計画は、売上高は前年度比－4.7%、経常利益は同－29.7%、当期純利益は同－35.8%、設備投資額は同－3.9%となっている。売上高、経常利益、当期純利益、設備投資額のいずれも上方修正された。

以 上